

新入行員152名が植樹

「びわこ地球市民の森(守山市)」で平成25年度の新入行員152名が植樹を行いました。滋賀銀行の「環境経営」への取り組みを実感することを目的に研修の一環として行っているものです。創立70周年を機に行ってきた植樹の合計が18,480本になりました。また、苗木の生長を促進するため、毎年、当行の役職員とその家族が除草・枝打ち作業を行っています。



サザンカやコナラなど
4種類400本を植樹



ニゴロブナ・ワタカを放流

凍てつくような寒さの中、役職員とその家族163名が参加

平成25年1月26日、草津市烏丸半島の琵琶湖岸において、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ」と「ワタカ」の放流を行いました。これは環境対応型金融商品「カーボンニュートラルローン 未来よし」を活用したもので、お取引先が「太陽光発電システム」などを導入し、削減された温室効果ガスの排出量を当行が推計、排出権取引価格を参考に換算した金額を放流資金として拠出しています。平成19年からの放流累計はニゴロブナ21万匹、ワタカ14万匹となりました。

「びわ湖環境ビジネスメッセ2012」に出展

平成24年10月24日から3日間、「びわ湖環境ビジネスメッセ」が県立長浜ドームで開催され、当行はしがぎん経済文化センターと共同でブースを出展しました。同メッセは、国内最大級の環境産業総合見本市で、当行は12回目の出展です。

「環境ビジネス支援」をテーマに、環境経営や環境金融の取り組みを紹介するだけでなく、放流事業を行っているニゴロブナとワタカを「環境大使」として展示。ブース内に設置した「びわ湖への誓い」では、480名の皆さんから「環境メッセージ」をいただきました。



297の企業・団体が出展。当行のブースも多くの方でにぎわいました



ニゴロブナ



ワタカ

学校ビオトープづくり資金200万円を 県内小・中学校4校へ贈呈

『しがぎん』エコプラス定期』では、ATMや電話などを利用しお預入いただくごとに、不要となった申込用紙代相当額(7円)と「ネット投信」の「電子交付サービス」をご契約いただくことにより削減される紙資源削減相当額(100円)を積み立て、滋賀県内の小・中学校へ「学校ビオトープ」づくりの資金として贈呈しています。平成25年度は創立80周年記念事業の一環として、50万円を増額、助成累計は27校、1,279万円となりました。



大道頭取(右)から4校へ目録を贈呈

ペットボトルキャップ約14万個をリサイクル

滋賀県内の企業・団体が加盟する社会貢献組織「淡海フィランソロピーネット」のペットボトルキャップリサイクル事業に参加しています。当行本店では、ペットボトルキャップを回収し、県内の障がい者共同作業所へ提供。共同作業所で洗浄・乾燥されたペットボトルキャップは再生事業者へ販売され、プランターへと生まれ変わります。

資源のリサイクルと障がい者の賃金向上(福祉)につながる取り組みです。



「第20回しがぎんカップ」を開催

熱戦が繰り広げられました

平成24年11月24日、「しがぎんカップ」の決勝戦が行われ、アミティエ・スポーツクラブ草津が優勝を果たしました。同大会は、青少年の健全な育成と地域共感を図ることを目的に、創立60周年(平成5年)から協賛している滋賀県内最大の小学生対象のサッカー大会です。今回は県内136チームが参加。大人顔負けの見事なパスワークやドリブルに会場から大きな歓声が上がりました。

地域社会との共存共栄

CSRトピックス



贈呈式後、平成24年度助成先の団体が和太鼓を演奏されました

「しがぎん福祉基金助成金贈呈式」を開催

地域福祉の向上を願って、創立50周年(昭和59年)に社会福祉法人しがぎん福祉基金を設立しました。滋賀県内で展開される福祉の実験的・開拓的な取り組みに対して幅広く助成を行うもので、29回目の平成25年度は15団体に総額918万円を助成しました。助成累計は428件、3億2,003万円となりました。

新テレビCM「ニゴロブナ・ワタカ放流篇」を放送中

平成25年度の新テレビCM「ニゴロブナ・ワタカ放流篇」は、生物多様性がもたらす恵みに感謝するとともに、この豊かな自然を子どもたちに引き継ぎたいとの思いを込めました。

放流シーンの撮影は、大津市の小松浜水泳場。CMソングは、スタジオジブリ映画「猫の恩返し」の主題歌『風になる』を歌う、ウクレレ・シンガーソングライターの「つじあやの」さんです。



当行のホームページでもご覧いただけます